

辰野町議会第10回議会報告会の概要（全体会議）

（記録：中谷議員）

実施期日 平成28年11月11日（金） PM6：30開会
実施場所 辰野町役場第6号会議室
出席者 63名（町民47名、議員ほか16名） 前回町民45名
司会進行 議会運営委員長（宇治議会運営委員長）

1、開会挨拶 成瀬副議長

2、主催者挨拶 宮下議長

3、議会活動報告内容

第9回報告会以降（平成28年5月27日）の活動状況中心に報告

・内容 6月、9月定例会、臨時議会（10/7）の議案や陳情審査、
町長への要望事項、各常任委員会での活動状況等の報告

・説明者 総務産業常任委員会関係 根橋委員長より報告
福祉教育常任委員長関係 堀内委員長より報告
議会広報委員会関係 垣内委員長より報告
（報告内容は、第10回議会報告会提出資料参照）

・質疑応答

2つの分科会方式のため出席以外の分科会に係わる案件についても、この場で聞けるよう質問を受付けた。

質問

10/17～18日実施した、総務産業常任委員会で実施した石川県野々市市での研修で、「中小企業振興対策」について理解を深め今後の政策に役立てる事ができたとの、報告があったがその振興策の内容や実例を知りたい。

答弁 根橋委員長

振興策及び取り組みについて報告

○固定資産税の軽減措置○利子補給の上乗せ措置○始業起業する企業に販路拡大や製品開発等の研究を進めるため、600万円の助成実施○大学との連携強化を図り共同開発や連携した技術開発の実施支援○補助金だけでなく、開発や販路開拓へも支援している実態が参考になった。

（質問者了解）

今回は、いつもに比較し、全体会議での質問は少なくこの1件のみ。

4、分科会（意見交換会）会場及びテーマ

1) 総務産業常任委員会

テーマ「地域づくりと地域行政活動のあり方について」

主旨：消防団など地域役員のこれからの活動について

2) 福祉教育常任委員会

テーマ「地域に根ざした介護予防事業のあり方について」

主旨：地区介護予防事業などの現状と今後について

分科会 1

総務産業常任委員会

○テーマ「地域づくりと地域行政活動のあり方について」

主旨：消防団など地域役員のこれからの活動について

（記録：熊谷議員）

1) 会場 役場第6会議室 17名出席 19時15分開会

2) 分科会の次第 進行：岩田議員

イ. 開会のことば（岩田議員）

ロ. テーマ・趣旨についての課題提起（根橋委員長）

ハ. 意見交換会

ニ. 閉会のことば（宇治議運委員長）

20時閉会

3) テーマ・趣旨についての課題提起

○根橋委員長

今回は、2種類の資料を用意した。ひとつは「区別の65歳以上人口・高齢化率」と「消防団員一人当たりの65歳未満人口」。二つ目は「辰野町の地域づくり計画・地域づくりのための補助金事業・地域づくり応援団」の説明資料である。

最近の少子高齢化により地域によっては、今までのような地域団体活動の継続が困難になってきている。特に消防団や奉仕団活動においては団員確保に大変な苦労をされている。そこで今日は、これからの地域団体活動について率直な意見交換ができたらと考え開催した。

◎分科会で提案された質問意見要望

《意見1》

消防署が広域になって、消防団の出動範囲決定が難しくなっていないか北大出での火災では消防自動車の交通渋滞が起こったりした。また「鎮火しました」の放送がなかったと思う。

《意見2》

広域になって最初の北大出の住宅火災では鎮火放送がなかったが、その後の羽場の住宅火災では鎮火放送があった。

宮下議長

小横川の山林火災では、広域の消防活動が威力を発揮した。大規模災害では広域消防が効果的である。

(司会 岩田)

広域消防のご意見があったが、消防団の団員確保についてご意見を伺いたい。

《意見 3》

消防団も他の団体と同様に、なり手不足で困っている。そんな中で消防団は、出動態勢を大きく変えている。今までは火災現場近くの分団が出動していたのを、これからは町全体の消防団員でカバーすることとした。町内の分団の再編成の検討着手も必要と考えるが、皆さんのご意見を伺いたい。

《意見 4》

下辰野では消火栓の管理において、団員不足により各分区の中に消火栓係を作って管理している。

《意見 5》

宮木も団員になる人が少ない。質問だが明日第4分団、第5分団、常備部合同で模擬火災訓練があると聞いたが、区に連絡がない。また夏の防災訓練での地元分団の協力応援が少なかったと感じる。

《意見 6》

平出区には連絡がきており激励に行っている。消防活動を町全体でとのことだが、予防消防と消火活動は分けて考えるべきだ。また消防団員の定数問題では、実際に出動している人数の把握が必要。地域によっては団員不足で可搬ポンプが出動できない問題を抱えているので、地域で自衛消防団の発足を予定している。

《意見 7》

模擬火災訓練に区長を招待するかは、各分団で決めており統一はしていない。消防団は今、地域に若者がいないため地域の団員確保ができない問題を抱えている。団員たちは「いったい何歳になるまで団員を続けなければならないのか」と閉塞感を持っている。消防団自らが団員探しをしているのみでなく、地域全体で団員確保の活動をしていただきたい。

《意見 8》

町政懇談会の中で話が出て、今年1月から男性も奉仕団に入団できるようになったが現在はいない。災害時の出動については当該分団のみ出動する。団員の少ない地域の場合、災害出動を奉仕団経験者が応援している。

《意見 9》

奉仕団川島分団では、5年任期で2巡目までは回っており地域によっては3巡目の心配をしているが、そこまではできないとの声が強い。分団再編が切に求められている。この問題を分団任せでなく、どこかでイニシアチブを取ってほしい。

(進行)

厳しい現状を伺った。いろいろな意見をありがとうございました。

宮下議長

消防や奉仕団など、区に任されている所もあるが、団員任せのところもあったり、人口が減少している中では相当厳しい現実。高齢化も進んでいる。組織的に考えて行かないと成り立っていかない。

根橋委員長

難しい課題をいただいた。具体的な話になりにくかったが、団体に任されても厳しい現状。団体任せでなく地域全体で役員や活動等連携したり、やり方の一部見直しも検討課題。区によって規模や高齢化率等内容が大きく違う。人数等の大小にかかわらず、きめ細やかにみれる行政を目指すべき。

議会でもさらに研鑽を重ねてより良いものを目指し具体的な支援を考えていく。

●閉会のことば 宇治委員

分科会 2 福祉教育常任委員会

○ テーマ「地域に根ざした介護予防事業のあり方について」

主旨：地区介護予防事業などの現状と今後について

(記録：瀬戸議員)

- 1) 会場 役場第2会議室 28名出席 19時30分開会
- 2) 分科会の次第 進行：篠平委員
 - イ. 開会のことば (篠平委員)
 - ロ. テーマ・趣旨についての課題提起 (垣内副委員長)
 - ハ. 意見交換会
 - ニ. 閉会のことば (中谷議運副委員長) 20時30分閉会
- 3) テーマ等趣旨及び概要説明：垣内副委員長

◎分科会で提案された質問意見要望

地区介護予防事業の各地区の現状と問題点

《意見1》

地区介護要望事業の現状と今後についての発言。つどい・触れ合う場として平成18年に介護予防委員になっていた人たちと「りんごちゃんの会」を立ちあげ。現在地区介護予防事業として月1回(午前10時～午後3時まで、昼食付き)実施している。年間行事は参加者全員で話し合い決めている。

一回も休まず開催してきた。内容も工夫を凝らしみんなで準備をし楽しく食事ができている。弁当は注文している。樋口区は地区社協もしっかりしている。区で責任を持つことが大切。

以前、参加者が体調不良になり救急車を呼ぶことになったが、家族の連絡先がわからず時間がかかってしまった経験がある。前もって情報として知っておくべきだと思う。男性の参加者が少ない。何か問題があるのでは、地域の方に講師として参加してもらうことはできるが、女性の参加者に圧倒されて男性が参加しない。男性参加への知恵を出してほしい。

参加者の交通手段の問題。歩いて参加が「しんどい」という方4人ほど送迎を

はじめた。役場に相談したら「事故が起きたら大変、送迎はやめた方がよい」と言われた。17地区の関係者が集まって、意見交換が必要。内容や講師へのお礼等の考え方を聞きたい。

◎司会

各地で行っているが、課題など出してほしい。

《意見2》

沢底では「楽しめる会」をやっている。歌やハーモニカ等メニューも工夫して、役場から紹介してもらっている。もっとたくさんメニューの中から選択できるとうれしい。

男性参加者は少ない。4~5人。女性20~25人。送迎の問題がある。現在、役員が自家用車で行っている。町からの補助金の使い道に制限がある。飲食には使えないとのことだが、多少は使わせてもらいたい。

◎堀内委員長

事業内容がお茶のみ会で良いということなので、使ってもよいのではと思うが、国で決まっていて飲食に関しては自己負担となっているが認めてもらいたい。

また、町作成のメニューの講師料は町負担だが、自分たちで考えるメニューでの講師料は補助金から払うことになっている。飲食代は出せないが送迎用のガソリン代などには使える。補助金の使い道などみなさんの意見を出していただき総意として町に上げてきたい。

◆今までの意見等を聞く中でのご意見

《意見3》

飲食など危険が無いように協力してやっているが、事故の時とかの保険や補償は、町とし責任を持ってほしい。そうなればより安心して地域でやっていけると思う。

《意見4》

介護予防である以上体操など必要だが、自己流では体を痛めてしまう。歯止め考えてほしい。

◎堀内委員長

ボランティア保険があるので入ってもらい、専門職に来てもらえるメニューを取り入れるなど考えると良いのでは。

《意見5》

補助金の件で別の会合で質問したら、町担当課長より使い道においては一切制限はない、飲食に使ってもよいと言われた。本当はどうなのか確認してほしい。

《意見6》

11団体がボランティアとして参加している。自分たちの介護予防で自分が負担して行うという考えが根付いていない様だ。やってもらって当り前の気持ちはおかしい。参加者負担も必要。現在参加費200円を頂いている。会に参加している人は心配ないが、家に閉じこもっている人が心配。「一緒に行こう、私が一緒に行くから」と声をかけこまめにコンタクトをとって信頼関係をつくり、参加者の背中を押す活動をしている。一人ではケーキも買えないということがあるのでクリスマスなど行事の時に買って食べる。基本的には飲食代は自己負担としている。買物係さんが予算の中でうまく買い物をしてきてくれている。十分やっていける。

《意見7》

全員保険加入が前提。「よつば」のお昼代やクリスマス会など飲食は自己負担。講師お礼もいくらか出している。

◆補助金の使い道について

《意見8》

ボランティアセンターを通じて講師依頼もし、お礼もしてきた。9年近く続けている会なので演芸など町やボランティアセンターの人材では底をついている。個人的な繋がりで見つけてきて、安い講師料でやってもらっている。文化祭に出品する作品の材料費にも使っている。

◆その他

《意見9》

元気な人は医療機関に来れる。往診に行かなければならない状況にならないために、体を動かしたり外に出ること、独りぼっちにさせないことが介護予防には大切。高齢者の特徴的なことがある。

認知症の一人暮らしの方、寒さでこたつに入ったまま動かないという人が出てきている。この前住診に行ったら、机といすの間に挟まって身動きができない方がいた。訪問しなければ凍死していた。一人住まいの方を引っ張り出すことが大切。介護予防を総括しているところはどこですか？

◎堀内委員長

保健福祉課です。

《意見10》

一人暮らしの方の情報を地域の方から頂ければ、組織を活かしていける。

◎司会

保健福祉課へ話していきたい。

《意見11》

今日のような各地区の代表者が集まり問題を出し合う会議を開催し、横の繋がりも広めていけたらと思い提案したい。調理でも衛生面に気を付け、マスク・手袋をしている。

◎司会

町へ伝えていきたい。

《意見12》

要介護4の母を在宅介護している。小さい市町村で介護保険が維持できないなど起こらないよう保険料を上伊那広域で統一してほしい。

◎成瀬委員

もったもだと考えるが難しい。辰野町だけでは決められない。今後の課題として検討して行かないといけない。

◎司会

介護保険も広域でという意見も全国市議会議長会でも出ている。上伊那広域議会で提案して行く事もやぶさかではないのかなと思う。

●閉会あいさつ 成瀬委員